

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

# 2023年度事業報告書

(2023年 4月 1日から2024年 2月29日まで)

## 【概況】

政府は、「新しい資本主義」の実現に取り組む中、民間による社会的課題解決に向けた公益的活動の活性化を重視し、「民間も公的役割を担う社会を実現」することを柱の一つとして位置付けています。社会のあらゆる分野で民間非営利部門の主たる担い手となっている公益法人に対しても、積極的に新たな事業展開にチャレンジして新たな社会的価値を創造し、成果として「社会的インパクトを創出」していくことを期待しています。

VEが日本に紹介されて以来半世紀以上が経ち、産業界で多くの目覚ましい成果を挙げて参りました。しかし未だに「VE＝コスト低減手法」と認識されている方々は少なくなく、VEの進め方や活用法についても多種・多様なアプローチが研究・開発されてきたものの、「社会的インパクトの創出」という領域、レベルにはまだ達していないと思われまます。

企業に限らず、自治体などの公共機関でもVEが積極活用されるようになりましたので、そうした面では社会的課題解決にも大きく貢献していると考えられることもできますが、より広範かつ一般的な「社会的インパクトの創出」という領域、レベルまで普及・活用されているかと問えば、やはり、まだ十分ではないと言わざるを得ない状況と捉えております。

世の中の動きに目を転ずれば、SDGsやESGの浸透により、世界中の企業は環境問題や社会課題の解決に貢献することが強く求められようになりました。各社ともその対応に努めておられます。このような社会環境の変化に対して、VEも時代の要請に即して本来のあるべき姿を再認識し、さらに新たな形へと拡張・進化していく必要があります。

そこで、本会では「社会に新たな価値を生み出し、多くの社会的課題を解決するために、VEを新たなステージへと進めていく」ことをここ数年の基本方針として掲げ、さらに基本方針と併せて「Value Engineering から Value Design へ」を標榜し、VEを通じて社会的インパクトを創出すべく、新しい時代のVEのあり方を検討しております。

基本的には、短期的な財務価値の追求に留まらず、長期的な非財務価値、社会価値、環境価値なども視野に入れた活動と、その成果としての「Value Impact」の創出を目指しております。また同時に、「Value Design」の実践を担う人材「Value Designer」の育成についても重要課題として引き続き取り組んでおります。ここ数年のコロナ禍の影響が大きく、事業推進上の困難もありますが、公益法人の本分を果たすべく鋭意努力して参る所存です。

# 1. 講座

## 1) バリューデザインスクールのオンライン開催

	3時間で学ぶVEの基本	1日で体験する VEワークショップ	ファシリテーション入門
開催日	5月24日	5月31日	6月29日
受講者	6名	6名	7名

	製品改善 ワークショップ	VEの原点的思考 (機能分析中心)	企画段階のVE
開催日	7月 3日～ 4日	7月13日	7月21日
受講者	9名	8名	12名

	参加者から情報を導き 出す質問とフレームワーク	VEリーダー受験対策 1日セミナー	VE活動で求められる ファシリテーションの実践
開催日	7月25日	7月26日	8月24日・9月 5日・9月14日
受講者	(中止)	(中止)	5名

	VEで活用する アイデア発想	3時間で学ぶVEの基本	1日で体験する VEワークショップ
開催日	8月28日	9月15日	9月20日
受講者	5名	19名	18名

	機能の整理法	開発設計のVE	VEに活かす “数字力”養成
開催日	9月22日	9月25日～26日	9月28日
受講者	5名	8名	5名

	VEを組織的に適用する ためのマネジメント	調達・購買機能の役割と スキル	VEブラッシュアップ 基本編
開催日	10月 3日	10月 5日	10月 6日
受講者	6名	4名	12名

	調達・購買活動の要諦と 組織能力	話し合いをデザインする 技術	VEブラッシュアップ 短文記述編
開催日	10月12日	10月17日	10月20日
受講者	3名	8名	16名

	VEブラッシュアップ 論述編	製品改善 ワークショップ	VEリーダー受験対策 1日セミナー
開催日	10月27日	10月30日～31日	11月 9日
受講者	16名	11名	(中止)

## 2) その他研修会等の開催

### (1) CVS 認定試験対策講座の開催

	CVS資格の取得を目指すための VEブラッシュアップ
開催日	9月21日
受講者	4名

### (2) VEインストラクター（VEI）養成講座の開催

開催日	2月7日～8日
受講者	4名

### (3) 通信講座の開講

#### ① VEの基礎

地理的・時間的な都合等で通学講座の受講が難しい人にも、VEの基礎を学び、VEリーダー（VEL）資格認定試験の受験資格を取得できる機会を設けること等を目的に開講し、127名が受講。

#### ② はじめての企画・開発メソッド ～ 0 Look / 1st Look VE ～

VEの基礎を学んだ人、VEL有資格者等を対象に、企画・開発業務にVEを活用する方法を学ぶ講座を開講。

### (4) CVS（Certified Value Specialist）によるVE技術者育成支援【「CVSフォーラム委員会」のオンライン開催】

	開催日	出席者	主な内容
第180回	4月26日	9名	① 「CVSフォーラム」2022年度総会の振り返り ② 2023年度の活動について、など
第181回	5月22日	11名	① SDGs絵本の作成について ② VE技術者育成をテーマとした研究について、など
第182回	6月26日	9名	① SDGs絵本の作成について ② AIを活用したVEのやり方について、など
第183回	7月24日	7名	① SDGs絵本の作成について ② AIを活用したVEのやり方について、など
第184回	8月28日	5名	① SDGs絵本の作成について、など
第185回	9月25日	8名	① SDGs絵本の作成について、など
第186回	10月23日	7名	① SDGs絵本の作成について ② 「CVSフォーラム」2024年度研究企画の募集について、など
第187回	11月27日	8名	① SDGs絵本の作成について ② 「CVSフォーラム」2024年度研究企画の募集について、など
第188回	12月25日	9名	① SDGs絵本の作成について ② 「CVSフォーラム」2024年度研究企画の募集について、など
第189回	1月22日	7名	① SDGs絵本の作成について ② 「CVSフォーラム」2023年度総会について、など

(4) CVSによるVE技術者育成支援【「CVSフォーラム委員会」のオンライン開催】（つづき）

	開催日	出席者	主な内容
第190回	2月20日	8名	① SDGs 絵本の作成について ② 「CVSフォーラム」2023年度総会について、など
総会	3月25日	21名	① 新CVSからの挨拶及び出席者の自己紹介・近況報告 ② 日本におけるCVS認定制度の一部改定について、など

(5) 経営者フォーラムの開催

	第1回	第2回	第3回
開催日	5月16日	8月31日	3月12日
会場	アルカディア市ヶ谷	アルカディア市ヶ谷	アルカディア市ヶ谷
テーマ	ブレイクスルー思考の世界	インパクト評価と価値創造経営	企業の持続的成長をもたらす人的資本経営
参加者	18名	15名	13名

(6) 開発設計業務でのVE・原価企画等に関する講座のオンデマンド配信

	開発設計業務でのコストエンジニアリング	企画・構想段階の機能と品質の決め方	企画から生産までの原価企画実務上の留意点
期間	5月8日～26日	6月5日～23日	7月10日～28日
視聴者	3名	1名	(中止)

	コストテーブル作成・活用の体験	DFA (Design For Assembly) 体験	Modular Design 実践手順と活用ツールの体験
期間	9月4日～22日	10月10日～27日	10月10日～27日
視聴者	1名	1名	(中止)

(7) 公共機関でのVE技術者育成支援

3月12日に開催された官公庁・地方自治体による「全国VE活動推進研究会」の全国会議にCVS資格を有するVE専門家をアドバイザーとして派遣し、公共分野でのVE活用を働き掛けた。

## 2. 資格認定

1) 資格認定制度の整備・体系化

- (1) 米国VE協会から“改定後のCVS資格認定制度運用”に関する情報を収集。
- (2) 日本におけるCVS資格制度の運営を、米国をはじめ各国の動向に鑑みて2024年度から国際資格に相応しいものとするための一環で、論文の要件や試験問題内容、試験実施方法等について検討及び変更準備。
- (3) 前記の制度改定によってCVSを国際資格と明確に位置づけるにあたり、希望するCVSに日本国内の上位資格であるVESの終身登録を行うこととし、希望するCVSからの申請を受付。

## 2) 資格認定試験の実施

試験名	実施日	会場	受験者	合格者
第54回 V E L 認定試験（前期）	4月18日 ～ 7月31日	全国約200箇所	369名	308名
第55回 V E L 認定試験（後期）	9月 1日 ～ 2月29日	全国約200箇所	1,450名	1,146名
第26回 V E S 認定試験	12月 2日	東京・名古屋・大阪	47名	24名
第44回 C V S 認定試験	11月18日	東京	4名	3名

※ V E Lについては、上記のほか中国でも実施し、8名が受験・合格。

## 3) V E I 資格の創設準備

V E L有資格者を対象に、社内でV E 基礎研修の講師を務めるために必要な知識及びスキルを修得し、自信を持って教育指導ができる人材であることを認定するV E I 資格を創設し、要件となる講座を受講・修了した人に対して2024年度から資格を付与する予定で準備。

## 4) 「バリュー・エンジニアリング（V E）」誌の編集・発行・配信

### (1) 「V E 誌編集委員会」のオンライン開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第 92 回	7月10日	7名	① 2023年度前期の編集実績について ② 2023年度後期の編集企画と検討課題について、など
第 93 回	1月26日	8名	① 2023 年度後半のV E 誌編集実績の報告について ② 2024 年度の企画について、など

### (2) V E 誌の発行・配信

第321号	第322号	第323号	第324号
5月 1日	8月 1日	11月 1日	2月 1日

## 6) 更新登録の実施

V E L、V E S、C V S 登録者の更新登録（V E L・V E Sは終身登録を含む）を実施。

# 3. 講 習

## 1) 「VALUE CONFERENCE 2023（第56回V E 全国大会）」の開催

配信期間	11月 1日～11月30日【30日間】
視聴回数	4,083回（全18コンテンツの総再生回数）
内 容	協会顕彰表彰式、講演 5 件、V E 活動優秀賞受賞報告 1 件、V E 実践論文・V E 活用事例 7 件、特別報告 5 件

2) 地域VE大会の開催（西日本支部 関西地区、中四国・九州地区）

	第55回 VE関西大会	第66回 西日本VE大会
開催日	2月16日	9月30日
会場	会場とオンラインの 同時開催	オンライン開催
参加者	121名	47名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 講演 2件</li> <li>➢ 事例紹介 3件</li> <li>➢ パネルディスカッション 1件</li> <li>➢ 過去講演紹介 4件</li> <li>➢ 過去事例紹介 11件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 講演 2件</li> <li>➢ 事例紹介 3件</li> </ul>
オンデマンド 配信	3月 1日～15日	10月 4日～18日

3) VEフォーラムのオンライン開催（西日本支部 関西地区）

	VEスプリングフォーラム	VEサマーフォーラム
開催日	5月26日	8月29日
参加者	84名	104名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 講演 1件</li> <li>➢ 技法紹介 2件</li> <li>➢ 事例紹介 1件</li> <li>➢ パネルディスカッション 1件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 講演 1件</li> <li>➢ 技法紹介 1件</li> <li>➢ 事例紹介 2件</li> <li>➢ パネルディスカッション 1件</li> </ul>
オンデマンド 配信	6月 1日～15日	9月 1日～15日

## 4. 研究開発

1) 「バリューデザイン・ラボ」での先端的・実務的研究及び調査等の積極推進

(1) 「現場の生産性向上と技能者の働きがいの両立化を目指すシステム」の研究

	開催日	出席者	主な内容
第12回	4月21日	5名	① アンケート協力企業への中間報告について ② 各担当の分析状況について
第13回	5月12日	6名	① アンケート協力企業へ報告内容の事前説明 ② 報告内容についての意見交換
—	6月30日	9名	① アンケート協力企業を訪問、分析結果を報告
—	11月18日 ・19日	4名	日本経営システム学会（JAMS）の2023年秋季全国研究 発表大会での論文2編の発表

(2) VE国際大会への参加による、海外諸国研究動向についての情報収集

6月12日～14日にオンラインで開催されたSAVE（米国VE協会）Value Summitに参加し、発表や講演を通じて海外におけるVE実践・研究等に関する情報を収集。

## 2) 各支部での実務的研究の推進

### (1) 機能別部会での研究活動

- ① 東日本支部に次の機能別部会を設置し、実務的な研究活動をオンラインで推進。

部会名	メンバー	主な内容
VE情報交流部会	12名	初めて部会活動に参加する人を対象とし、VEの推進組織や教育体制などについて広く情報交換を行う場。
VE推進部会	31名	VE推進上の課題について参加各社のノウハウをもとにした成功のためのポイントについての研究。
マーケティング部会	10名	マーケティング手法の理解や新たな価値を創造するためのツール開発と検証。
R&D部会	10名	価値を創造する手法としてVE手法を進化させるための関連手法を含めた探究と研究開発。
ものづくり部会	25名	独自技術をもつ企業とのオンラインでの情報交流を通じ、ものづくりの最新動向や本質を学ぶ。
資材調達部会	27名	調達全般についての問題提起と情報交換を行い、VEの活用と業務上の課題解決につなげる。
社会インフラ部会	13名	「企業ケース検討会」と「建設VE研究会」による社会インフラに関わる研究。

### ② 活動報告会の開催

上記部会及びスキルアップ研究会の活動報告会をオンラインで開催し、各部会での取り組み内容や活動成果の一端を紹介。

開催日	3月4日
参加者	205名
内容	部会及び研究会の活動報告、特別発表

### (2) 専門研究会での研究活動

東日本支部及び西日本支部（中部地区・関西地区）に次の専門研究会を設置し、実務的な研究活動をオンラインで推進。

#### ① 東日本支部

研究会名	メンバー	主な内容
若手やビギナー層のためのVE寺子屋	11名	VE実践における「学びの場」と「気づきの場」を提供。懸案である若手層の参画を促進することにより、支部活動のさらなる活性化をはかる。

#### ② 東海地区

研究会名	メンバー	主な内容
中部建設VE研究会	17名	地域の実情にマッチした建設VEのあり方と「2時間VE手法」のオンラインでの活用方法の検討。

#### ③ 関西地区

研究会名	メンバー	主な内容
経営革新を生み出す生き生きVE研究会	102名	各社のVE推進や実践方法等の情報をもとにした、VEの効果的な普及方法と活用策。
VEツール研究会	27名	ソフトVE等、過去に開発されたVE手法の見直しと実践。

③ 関西地区（つづき）

研究会名	メンバー	主 な 内 容
サービス領域での VE適用方法研究会	9名	第3次産業での共通領域であるサービス領域において効果的にVE活動を進める方法。
原価企画の問題解決 研究会	18名	原価企画推進上の問題の解決策。
テアダウン研究会	22名	テアダウン法の活用法。

## 5. 表 彰

1) 協会顕彰の実施

(1) 「審査・認定委員会 顕彰審査部会」の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第1回	書面表決	4名	① 協会顕彰（VE活動優秀賞）の審査 ② 協会顕彰（VE経営者賞・普及功労賞）の審査

(2) 受賞者及び受賞企業の表彰

次の各賞の表彰を「VALUE CONFERENCE 2023（第56回VE全国大会）」で実施。

VE経営者賞	① 田淵 道文 氏	日立建機(株) 代表執行役 執行役副社長
	② 和田 充紀 氏	パナソニックオペレーショナルエクセレンス(株) グローバル調達本部 エグゼクティブアドバイザー
普及功労賞	① 神谷 進 氏	(株)フジタ 建築本部建築統括部 VE推進部長
	② 関田 力 氏	CHIKARIZE 代表
	③ 藤原 裕輔 氏	三菱ロジスネクスト(株) 技術本部 技術開発部課長
VE活動優秀賞	三菱重工機械システム(株) 設備インフラ事業本部 殿	

2) VE実践論文の審査・表彰

(1) 「審査・認定委員会 論文審査部会」の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第1回	6月26日	7名	① 応募論文の審査、など
第2回	8月25日	5名	① 修正論文の審査、など

(2) 入選論文の発表・表彰

次の論文の発表を「VALUE CONFERENCE 2023（第56回VE全国大会）」で実施。

入選論文	① 高橋 淳一 氏	グリーンマネジメント(株)
	② 廣田 修 氏 他	(株)フジタ
	③ 松永 尚也 氏	三菱電機エンジニアリング(株)
	④ 渡邊 忠一 氏	三菱電機(株)



## 6. 情報資料

### 1) 研究成果の資料化

- ① VE実践や開発段階の問題解決に役立つ つかいやすいTRIZの進め方  
～TRIZ入門テキスト～（西日本支部 つかいやすいTRIZ研究会 編） 5月10日 発行
- ② 管理・間接業務改善のためのWAVE法テキスト  
（西日本支部 VEツール研究会 編） 9月15日 発行

### 2) VE関連資料の発行及びVE教材等の販売

- (1) 「VALUE CONFERENCE 2023（第56回VE全国大会）」VE実践論文集及び資料集（電子版） 11月1日 発行
- (2) ワークシートやアイデア発想ラベル・機能定義カード、VELバッジ等、VEの実施や推進のためのアイテムを販売。

### 3) VE関連書籍・資料・教材等の販売

VEの学習及び研究、普及促進に資するため、新・VEの基本等のVE関連書籍を仕入れて販売し、また本会が発行するVE関連資料・教材等を販売。

### 4) VE研究論文等のネット販売

電子化した過去のVE研究論文及びVE実践論文を協会Web Site内に開設したVE研究論文検索・購入サイト「VE論文navi」で販売。

## 7. VE活用支援

### 1) 日本国内における出前講座・オンライン講座の実施

No.	開催日	受講者	内 容
1	4月26日	6名	VE入門（オンライン開催）
2	5月18日	10名	VEの基礎（オンライン開催）
3	5月30日～31日	18名	VEの基礎
4	6月6日	21名	QCサークルリーダー向け
5	7月5日～6日	16名	VEの基礎（オンライン開催）
6	7月20日	9名	実践VEの基礎
7	7月25日～26日	12名	VEの基礎
8	8月8日～10日	15名	VEの基礎
9	8月31日	16名	VEの基礎
10	9月4日	14名	管理技術入門（オンライン開催）
11	9月7日～8日	15名	VEの推進
12	9月15日	14名	実践VEの基礎
13	9月21日～22日	22名	VEの基礎
14	10月2日～3日	4名	VEの基礎（オンライン開催）
15	10月10日～11日	17名	VEの基礎

### 1) 日本国内における出前講座・オンライン講座の実施（つづき）

No.	開催日	受講者	内 容
16	10月12日～13日	21名	VEの基礎（オンライン開催）
17	10月16日～17日	26名	VEの基礎（オンライン開催）
18	10月19日～20日	20名	VEの基礎
19	11月 2日～ 3月 6日	12名	VE実践ワークショップ
20	11月 6日～ 7日	4名	VEの基礎
21	11月 7日～ 8日	26名	VEの基礎（オンライン開催）
22	11月10日	9名	VEの基礎
23	11月16日～17日	13名	VEの基礎（オンライン開催）
24	11月27日～28日	20名	VEの基礎
25	1月10日・16日・29日	7名	VEの基礎
26	1月23日～24日	16名	VEの基礎
27	2月15日	29名	改善マインド入門
28	2月16日	30名	改善マインド入門
29	2月19日	29名	改善マインド入門
30	2月21日	29名	改善マインド入門
31	2月26日	28名	改善マインド入門
32	3月19日・28日	16名	VE実践講座

### 2) 日本国内における指導講師の派遣

依頼に応じて1社にVE指導講師を派遣し、VE実践の個別指導を実施。

### 3) 海外でのVE教育支援

- (1) 中国のネットワーク機器関連メーカーに、VEとテアダウンのプロジェクトを3件実践指導。
- (2) 中国の自動車関連メーカーに、VEとテアダウンのプロジェクトを2件実践指導。
- (3) 来年度はさらに海外プロジェクト案件数が増加する見込みであることから、実践指導者やセミナー講師となるVE有資格者及び企業OBの募集を開始。
- (4) 外資系自動車関連企業の日本法人に、自社製品を演習テーマにした3日間のVE基礎研修を実施。英訳の教材・テキストも提供。
- (5) フィリピン政府発注の公共事業プロジェクトでの設計VE検討を、現地の建設コンサルティング会社から委託されて実施。2日間の対面WS S、3日間のリモートWS S、実施計画書の作成から最終報告書の作成までを支援。

### 4) VEワークショップ・セミナー（48時間以上）の再認定

VEワークショップ・セミナー3件の再認定を実施。

## 8. 会員相互研鑽

### 1) 技術・情報交流会の開催（東日本支部）

開催日	5月19日	7月21日	11月28日
交流先	パトライト株式会社 IoT ラボ	泰日工業大学	アクセンチュア株式会社 イノベーションハブ東京
参加者	24名	43名	77名

## 9. 広報活動

### 1) メールマガジンによる情報発信

メールマガジン「VE 情報メール」を毎月 1 回発行し、VE や本会に関する最新情報を積極的に発信。また、VE 大会・VE フォーラム等の案内や参加者募集など PR にも積極的に利用。

### 2) 協会Web Site等による情報発信

- (1) 協会Web Siteを運営し、VE や本会に関する最新情報を積極的かつタイムリーに発信。
- (2) SNS 導入の検討を視野に、東日本支部部会の Twitter アカウント開設を支援。運用中のサイトアクセス状況を月単位で調査し、部会へ報告。

### 3) インフラメンテナンス国民会議への参加

国が支援し、自治体、企業、研究機関、NPO 等で構成されているインフラメンテナンス国民会議に会員として参加し、社会資本の維持管理に関する情報を収集。

### 4) 他団体との連携による広報

VE 大会及びVE セミナーの開催にあたり、次の団体から後援及びPR 支援をいただいた。

- ① 日本インダストリアル・エンジニアリング協会
- ② NPO 法人日本TRIZ 協会
- ③ 一般社団法人日本システムデザイン学会
- ④ 上海VE 協会
- ⑤ 公益社団法人大阪府工業協会
- ⑥ 公益社団法人京都工業会
- ⑦ 公益社団法人兵庫工業会

### 5) 国際交流

- (1) 日本・ベトナム国交樹立50周年を機に来日されたベトナムユネスコ協会連盟訪日団の企業訪問（株式会社IHI）及び大学訪問（法政大学）並びに記念カンファレンスにおけるVE 講演等について企画段階から協力し、ベトナムにおけるVE 普及の一助とした。
- (2) インドVE 協会（INVEST）メンバーの来日時に合わせて、交流の機会を持ち、双方の協会での取り組み状況やVE の動向や普及に関する情報交換・交流を行った。
- (3) ウズベキスタン共和国タシケント工科大学の教授が来日された際に、VE に関する両国協働での普及活動や研究活動の可能性等について意見交換を行った。

## 10. 会 議

### 1) 定時総会の開催

開催日	6月13日
出席者	61名
議 案	① 2022年度計算書類の件 ② 理事選任の件

### 2) 理事会の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第42回	5月16日	10名	① 代表理事（会長）・業務執行理事の業務執行状況報告 ② 2022年度の事業報告書及び計算書類について ③ 第13期定時総会の招集について、など
第43回	8月31日	10名	① 代表理事（会長）・業務執行理事の業務執行状況報告 ② 2023年度顕彰者の決定 ③ 顧問の委嘱、など
第44回	(理事会の決議の省略)		① 2024年度の事業について ② 2024年度の収支予算について ③ 2024年度の資金調達及び設備投資について、など

### 3) 「本部企画委員会」のオンライン開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第51回	2月29日	6名	① 各支部・各委員会の2023年度概況と2024年度予定について ② 本会の2024年度計画について

## 11. 会員数の異動

		会員数		入 会	退 会	増 減
		2023年 4月 1日	2024年 3月31日			
正 会 員	団 体	66	62	0	4	-4
	個 人	34	28	0	6	-6
賛助会員	団 体	77	77	4	4	±0
	個 人	74	81	13	6	+7
合 計		251	248	17	20	-3

## 12. 2023年度 事業報告 附属明細書

2023年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業活動の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成していない。

以 上